

## 慎重審議のお願い

横浜市会議員の皆様には、日頃より横浜の文化・教育の充実と発展にご尽力いただき心より感謝申し上げます。

さて、ご承知のように、横浜市立大学の独立行政法人化をすすめる定款（案）が議会上程されておりますが、公表された定款（案）をみますと、横浜市大をよりよい方向に改革するうえで見すごすことのできない問題点があるように思われます。私たちの恐れるところは、この定款にもとづいて独立法人化されるならば、横浜市大が大学の名に値しない大学として社会から評価され、衰退の道をたどるのではないかと、という点です。国立大学法人と比較しても特異な定款（案）の問題点を同封のようにまとめましたので、どうぞご一読下さいますようお願い申し上げます。

もとより私たちは大学の現状に甘んじ安住してよいとするのものではなく、市民に開かれた大学のよりよいあり方、社会に広く貢献できる教育・研究のあり方を求め、その具体化のために努力してゆきたいと考えております。大学の将来を真剣に憂える立場から、私たちは、昨年来すすんでいる「改革」像のなかであきらかに問題と考えられる点について朝日新聞神奈川県版に意見広告を掲載いたしました。これも同封いたしましたので合わせてご覧いただけますと幸いです。

横浜市大の改革を実りあるものとするためには、拙速で上からの強引なすすめ方ではなく、教育百年の大計に立っての十分な議論がぜひとも必要と存じます。市会におかれましては、皆様のご賢慮の上に立った慎重な審議をすすめていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

なお、市大改革にかかわる諸問題につきまして、お求めのある場合喜んで説明に参じますのでご連絡くださいますよう。

2004年2月13日

横浜市立大学教員組合